

追跡 あれはどうなった！

冬の通学路の安全確保

これまで町内の通学路は、冬期間の降雪により歩道幅が狭く除雪困難な状況だった。通学路の安全確保をどうするのか。幾度となく議会の話題になっていた。ようやく町は、平成28年12月議会においてNPO法人と連携し早急に対応したいと答えた。

状況を検証してみるとNPO法人の協力を得ながら、大石田小学校から役場前の歩道、いこいの家の前の道路など狭くなった通学路の除雪を行った。速やかな対応により、今年は歩道幅が確保され、子どもたちは安全に通学できた。

来年以降も、冬期間の幅員が狭くなる歩道について、順次対応してもらえることを期待する。



NPO法人
「まちづくり大石田」
代表理事 斎藤 忠雄

第3回
臨時会
6/16

町民交流センター 管理用備品等の取得

- ・町民交流センター管理用備品の取得
- ・町民交流センター舞台照明等備品の取得
- ・消防団消防ポンプ自動車の取得

あれはどうなった！

第2回
臨時会
5/10

町民交流センター建築工事 請負契約の一部変更

- ・平成29年度大石田町一般会計補正予算(第1回)の専決処分の承認について
- ・平成29年度大石田町国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
- ・小型除雪車の取得について

昨シーズンを
振り返って

平成28年度から大石田町との協働事業として「大石田町除雪支援事業」を受託しました。町からは、大石田小学校区の通学路の歩道除雪の依頼を受け、小型除雪機による初めての通学路除雪を実施しました。児童の安全な登下校を確保できたことで、多くの関係者から喜んでいただきました。昨シーズンは1回のみの歩道除雪でしたが、今後も町の依頼により、安全な通学路確保をめざし協力していきます。

除雪依頼も、高齢化世帯が増大する中でリピーターも増えています。冬期間の町民の快適な生活空間確保のため、邁進していきます。

来年の芭蕉サミットへ

岐阜県「大垣市」 6月27日

松尾芭蕉との縁で物産交流をしている大垣市を訪れた。「奥の細道むすびの地記念館」は市中心街地の活性化や、観光の誘発に向けて平成24年に整備された。常設展示室では、紀行文(奥の細道)を映像で体験できるなど充実した施設だった。5年間で120万人の観光客が来館している。

来年は、大石田町で「全国芭蕉サミット」が開催される。交流センター「虹のプラザ」を核とした町の一層の活性化・交流人口の拡大に取り組んでいかなければ感じた研修であった。

【記 関】



芭蕉の足跡・大石田の資料もたくさん

交流センターの運用は？

愛知県知多郡「阿久比町」 6月29日

考えさせられたのは、庁舎と交流センター併設工事で47億3千万円ということ。当町は、交流センターだけで30億円かかっている。阿久比町の「アゲピアホール」は全面フラットを基本としたホールであり、400席ある可動式の椅子は、災害時には収納され避難所となる。施設のコンセプトは、当町の「虹のプラザ」とは少し違っていたが、機能的なホールとなっていた。照明機材の運用や利用料金など当町の参考になればと学んできた。

【記 齋藤】



収納可能な椅子で説明を受ける

グラフィックデザイナーに学ぶ

山形県町村議会広報研修会(5/26)

クリニックでは、昨年と比較して改善された部分やレイアウトをアドバイスしていた。当町の議会だよりは非常に高く評価されたが、向上心を持って編集しなければならないと感じる研修会であった。

【記 村形】



やる気満々！ 今年も最前列